

## ● 2016年度 委員会事業報告書

### 会員室

### 拡大交流委員会

委員長／小林 大作      副委員長／山内 裕之      委員会幹事／百合 拓泰  
委員／国立 朋裕      澁田 孝 玉森 愛      宮原 倫章      山下 拓郎  
吉岡 篤史      櫻井 千明      佐々木 裕朗      中根 拓也      藤谷 匡史

1      2016年度拡大交流委員会は明るい豊かな地域社会の実現に向けて、より効果的で力  
2 強い運動を行うため、一人でも多くの会員を増やし、会員同士が切磋琢磨し合う中で会員  
3 一人ひとりの成長を促すとともにLOM全体が成長することを目指して活動してまいりま  
4 した。

5      会員の皆さんからの多くの入会候補者をご紹介していただき、17名の方に入会してい  
6 いただきました。30名の目標には届きませんでした。個性溢れる素晴らしいメンバーが  
7 揃いました。

8      また、新入会員の方を対象に各例会で3分間スピーチを実施し、限られた時間内に、決  
9 められたテーマに沿って大勢の前でスピーチをするスキルを磨いてもらうとともに会員が  
10 新入会員の人となりを知るきっかけになったものと思います。残念ながら2名の対象者が  
11 未実施となりましたが、実施した新入会員はスピーチのテーマと向き合うことで自分の意  
12 見を端的に表現して伝える修練を経験したと考えます。

13      次に、新入会員に青年会議所の基本方針を学び、活動に対する積極性を向上させるため  
14 に、新入会員オリエンテーションを3月と7月の2回に渡り実施しました。青年会議所の  
15 基本を説明し、新入会員がLOMの理解を深めることができました。その後の新入会員の  
16 積極的な参加や活躍から、このオリエンテーションが効果的であったと感じております。

17      そして、6月に伊達の地で行われた第11回道南エリアスポーツ大会では、道南の13  
18 LOMが集いスポーツを通して交流を深めました。各競技ではLOMが一致団結するべく、  
19 総合優勝の目標を掲げましたが、目標には届きませんでした。要因としては委員会として  
20 LOM内をまとめあげられず練習が思うようにできないことと、同時にLOM全体の優勝  
21 への意識共有を掻き立てることができなかつたのだと感じております。しかしLOMPR  
22 では3連覇を狙い新入会員全員が一丸となり、必死に努力しました。結果としては惜しく  
23 も2位でしたが、新入会員同士の団結力が強いものとなりました。

24      また、12月例会では卒業生の今までの努力を現役メンバーが受け継ぎつつ、卒業後の  
25 新たなスタートを応援しました。卒業生と現役メンバーが一体となり感謝、感動、高揚感  
26 を感じ今後の新たな一歩への意欲が高まったものと感じております。

27      メンバーの拡大と交流を担う委員会として、皆さまのたくさんのご協力を得たからこそ  
28 1年間運営することが出来ました。多くのメンバーといくつもの感動を共有させていただ  
29 きました。そして、LOMの活動の根本となるメンバーの活性化を通じて活発な運動へ繋  
30 げることができました。